

なからぎの森

発行元: 京都府立植物園整備計画の見直しを求める会
 (別称: なからぎの森の会)
 〒606-0851 京都市左京区下鴨梅ノ木町 62-2
kbgsuport@gmail.com
 ホームページ: <https://nakaraginomori.com>

旧総合資料館跡地開発の説明会が再び開催されます。

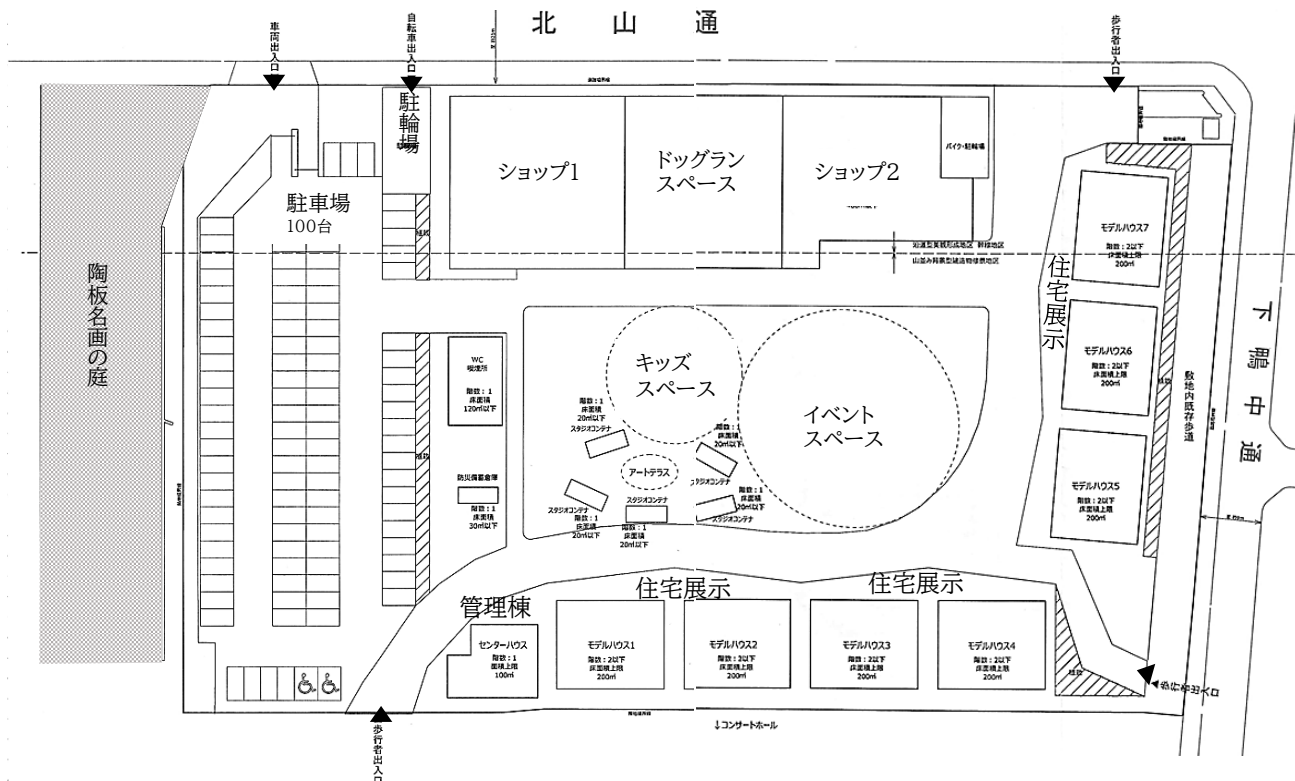
3月1日(土) 午前 10 時～

京都学・歴彩館 小ホールにて

旧府立総合資料館跡地の暫定利用について、京都市まちづくり条例にもとづく説明会が昨年 9 月 29 日に開催されました。公募で選考された企業 日本リグランド社は、そのとき下図のような計画を発表しました。この計画に参加者から多くの質問が出され、その後、市民からの意見書も提出され、日本リグランド社の回答が京都市のホームページで公表されています。

しかし、再度説明会をもって疑問に答えてほしいという要望が多く、「北山エリアの将来を考える会」(「なからぎの森の会」もそのメンバーの一員)からも再三、日本リグランド社に問い合わせをした結果、上記のように2回目の説明会が開催される運びとなりました。

多くの方にご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。



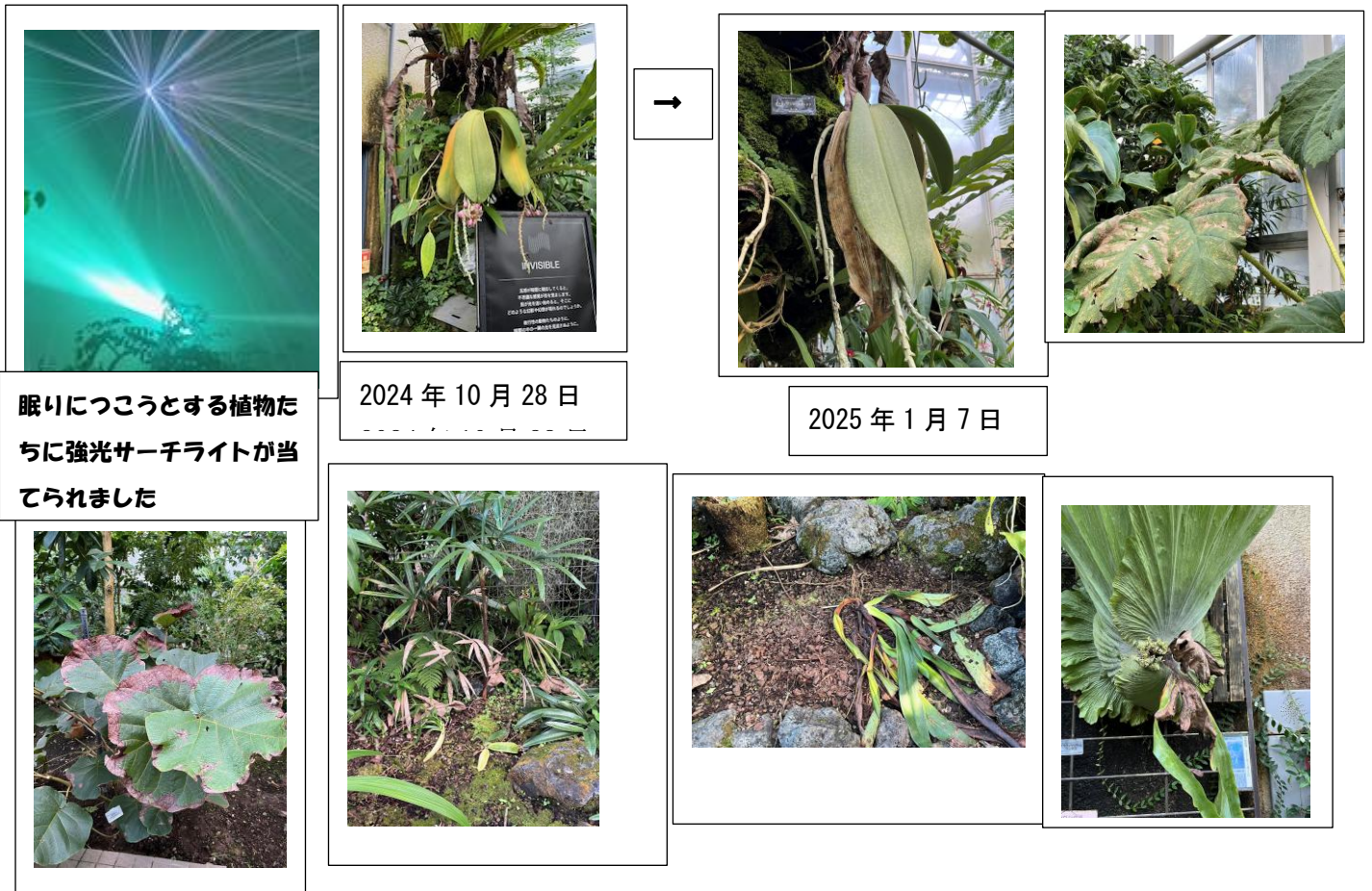
温室植物たちの悲鳴が聞こえる

入場者の歓声のおかげで

植物園観覧温室のライトアップイベント 温室の植物はこんなに痛めつけられました

昨年 10/18～12/26、毎夜 6 時～9 時半、府立植物園観覧温室で ” LIGHT CYCLES KYOTO ”という光を使ったイベントが催されました。年が明けて温室を見に行くと、葉先が枯れたり萎れたりしているものが沢山ありました。強烈な光線と大爆音を毎夜浴びせられ、植物たちにはさぞ過酷であったことでしょう。

イベントが温室植物にどのような影響を及ぼしたか、十分検証されなければならないはずですが、万博期間にインバウンドの観客を見込んで、府は今年もナイトイベントを開催することを決め、予算を組み、事業者が公募されています。日本にはない貴重な植物が育てられている温室で、これ以上のイベントの開催はとても心配です。なからぎの森の会では、2 月 19 日に肉戸植物園副園長と懇談をして、せめて温室では開催しないように申し入れました。



👉 出版案内

「こうして京都府立植物園は守られた
—市民が開く commons の未来—
「なからぎの森の会」編

かもがわ出版より 4 月中旬に発売されます

京都マラソンで 1 万 6 千人のランナーが植物園内を走るのも、植物たちに与える影響が大きく、マラソンコースから植物園を外してください。